

はだの市民が創る男女共同参画推進会議

令和7年度 定期活動報告 No.2

11月3日(祝・月) 市民の日

第46回市民の日に参加し、「男女共同参画社会」への関心を高め、意識の啓発を図ることを目的に、PR及び男女共同参画関連のアンケートを実施しました。アンケートには572人にご協力いただき、「ワーク・ライフ・バランス」の言葉も意味も知っている人が昨年より大幅に増え、過半数となりました。引き続き啓発活動に努めてまいります。



11月12日～25日 女性に対する暴力をなくす運動



市役所教育庁舎、図書館に啓発ブースを設置しました。また、本庁舎フェンスへ横断幕を掲出、秦野駅ではデジタルサイネージで啓発を行いました。本庁舎では、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、パープルライトアップを行いました。女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。



教育庁舎



横断幕



パープルライトアップ



デジタルサイネージ



図書館



11月22日(土) 人権・男女共同参画を考える会



旅行作家・グルメ作家の石田ゆうすけ氏をお招きし、「世界9万5000km 自転車ひとり旅から考える人権」をテーマに講演会を開催しました。自転車で7年半をかけ、9万5000km、87か国を走り世界一周を達成された経験から、多様性理解や夢を持つことの大切さ、困難の乗り越え方についてご講演いただきました。聴講者もきれいな写真と共に「疑似旅」をすることで、人生の本質や人との関わりについて体感できるよい機会になったのではないのでしょうか。

